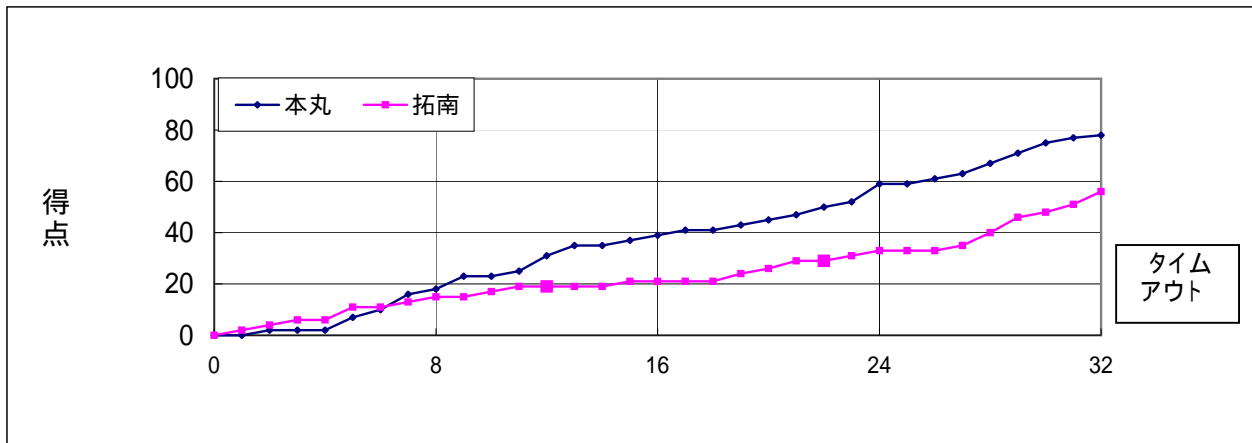


試合区分	2日目 決勝トーナメント1回戦 2GA1							
期日	2010年(平成22年)8月24日(火)		9:30					
会場	広島県立総合体育館							
結果	本丸 78 (新潟)	<table border="1"> <tr><td>18 - 15</td></tr> <tr><td>21 - 6</td></tr> <tr><td>20 - 12</td></tr> <tr><td>19 - 23</td></tr> <tr><td>-</td></tr> </table>	18 - 15	21 - 6	20 - 12	19 - 23	-	56 拓南 (愛媛)
		18 - 15						
21 - 6								
20 - 12								
19 - 23								
-								
審判	主審 秋吉 秀則	副審 二宮 隆二						



### 本丸

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 三枝 幹司 (C)	13	3	2	0	1
5	* 金子 大希	21	2	7	1	3
6	* 築井 良知	28	0	14	0	1
7	矢部 優	0	0	0	0	0
8	* 河内 峻太	7	1	2	0	3
9	佐藤 駿	0	0	0	0	1
10	小島 喜睦	2	0	1	0	0
11	齋藤 将名	-	-	-	-	-
12	加藤 拓未	-	-	-	-	-
13	渡辺 侑貴	0	0	0	0	0
14	原 一基	0	0	0	0	0
15	小池 悠太	-	-	-	-	-
16	廣田 雄也	0	0	0	0	0
17	* 長谷川 蓮	2	0	0	2	1
18	清野 凌	5	1	0	2	1
コーチ	富樫 英樹					
合計		78	7	26	5	11

### 拓南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 高岡 祐士 (C)	4	0	2	0	2
5	* 宮内 和真	12	2	3	0	5
6	* 渡部 裕地	23	2	8	1	2
7	松岡 朋弥	2	0	1	0	1
8	山下 平悟	-	-	-	-	-
9	重信 光季	-	-	-	-	-
10	* 天野 祐希	2	0	1	0	1
11	* 苗田 将輝	13	1	5	0	4
12	高石 将一朗	-	-	-	-	-
13	杉本 和希	-	-	-	-	-
14	永井 慎	-	-	-	-	-
15	橋 十志貴	-	-	-	-	-
16	武田 虎之介	-	-	-	-	-
17	富谷 寛	-	-	-	-	-
18	沖田 剛	-	-	-	-	-
コーチ	尾下 桂子					
合計		56	5	20	1	15

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

### 戦評

本丸 2 - 1 - 2 ハーフコートゾーンDefで、拓南はハーフコートマンツーマンDefでスタート。立ち上がり拓南は#1、#6のシュートでリズムをつかみ、2 - 9と拓南がリードする。本丸も#4、#5の3Pで反撃を仕掛け、残り1分を切ったところで逆転に成功し、1Qを本丸18 - 15拓南で終了する。2Q、本丸は#5のドライブイン、#8の3Pで一気にリードを8点差まで広げる。拓南も#6のシュートで応戦するも、本丸はDefを2 - 2 - 1オールコートゾーンプレスに変え、ボールを奪い速攻で得点を重ねていき、12点差ついたところで拓南はタイムアウトを要求。しかし、Offのリズムをつかんだ本丸はテンポよく得点していき、2Qを18点のリードで終了。

3Q、お互いのDefスタイルは変わらず、一進一退の攻防が続き、6分経ったところでも点差は変わらない。ここから本丸#5の3Pをきっかけに、#6のシュートが決まりだし、残り1分のところから7連続得点をあげ、さらにリードを広げて終了した。4Q、拓南は本丸のゾーンDefに対して外からのシュートが決まらず、Defを前からプレッシャーをかけて反撃を試み、速攻から#11のシュートなどで得点をしていくが点差は縮められない。本丸は終始落ち着いたゲーム運びでリードを保ち、本丸78 - 56拓南で決勝トーナメントを勝ち上がった。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063b

記事者 土橋 一美 (所属) 広島